

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2012.7.1～7.31)

□人事（7月1日付新任）

兼担研究員（運営委員） 金子 征史（法学部教授）
 兼任研究員 兼子 諭
 嘱託研究員 梅澤 昇平

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』646号（2012年8月）

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	74	6	80
受 贈	16	2	18
合 計	90	8	98

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 25日
 閲覧人員 32名
 貸出図書 11冊

コピーサービス

学外 22件 2,748枚
 学内 5件 153枚

日 誌

- 15日 韓国より水原社会的企業家アカデミー来所
 応対：鈴木玲副所長、大山博兼担研究員
- 17日 事務会議
- 18日 運営委員会
 議題①自己点検評価報告書の意見書について
 ②『大原社会問題研究所雑誌』の編集委員の承認
 ③嘱託研究員の承認
 ④兼任研究員の承認
 ⑤『日本労働年鑑』第83集の特集テーマ
 ⑥その他
- 『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
- 21日 『子どもの貧困と労働』研究会（第1回）
 テーマ①「イギリスにおける養育費政策の変

容一ひとり親世帯のこどもの貧困の観点から一」

報告者：下夷美幸氏（東北大学）

テーマ②「ドイツにおける子どもの貧困」

報告者：齋藤純子氏（国立国会図書館調査及び立法考査局）

コメンテーター：原伸子（法政大学）

22日 社会党・総評史研究会（第3回）（於：市ヶ谷）
 テーマ：初岡昌一郎氏（ソシアルアジア研究会代表・元姫路獨協大学教授）に聞く

23日 出張：榎一江専任研究員、岡山県倉敷市旧大原邸所蔵資料調査（～24日）

24日 研究所のあり方諮問委員会（於：九段，出席：原伸子所長，鈴木信一課長）

25日 研究員会議
 月例研究会
 テーマ：『『青鞥』の「墮胎論争」から見た〈母性〉—近刊叢書所収拙稿を中心に」

報告者：松尾純子
研究所前期打ち上げ

30日 海外出張：鈴木玲専任研究員，ISAフォーラムでの報告（於：プエノスアイレス）ほか（～8月10日）

30日 社会問題史研究会
夏季集中資料整理（～8月10日）

お詫び

本誌647・648号掲載の「日本労働研究雑誌」627号の広告に誤りがありましたので、再度掲載いたします。

大原社会問題研究所雑誌 No.649 (2012年11月号)

2012年11月25日発行

定価1,000円（本体952円），年間購読料12,000円

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 榎 一江

所 長 原 伸子

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042（783）2306